いわて生活協同組合環境方針

環境理念

いわて生協は、2011 年の東日本大震災と福島第一原子力発電所の重大事故を受け、「原発に依存しない事業とくらし」をめざし、取り組みをすすめてきました。その結果、いわて生協の事業で使用する電力の 100%以上を再生可能エネルギーでまかない、CO_2 排出量も目標を超えて削減することができました。さらに、再生可能エネルギー比率の高い「コープのでんき」の組合員への供給も継続しています。

持続可能な地球を子どもたちに残すために、引き続き、人類共通の課題である「地球温暖化防止」のための取り組みや「プラスチック問題」、「食品ロス問題」への対応、「エシカル消費」の普及など、これまで以上に積極的な役割を果たします。

環境方針

１．いわて生協は従来の活動の枠や発想にとらわれることなく、全常勤者が知恵を込め、以下の活動に取り組みます。

（１）いわて生協の事業における環境負荷を減らすために、マネジメントラインを通じて、全常勤者が、日常の仕事としてＰＤＣＡサイクルをまわし、継続的な改善を積み重ねていきます。

（２）CO_2 排出量は、「2013 年を基準に 2024 年度、62%削減しています」。今後、事業が拡大しても目標を達成し続けるために、再生可能エネルギーの導入推進と、施設・設備の省エネ型への更新、常勤者の節電の取り組みをすすめ、いわて生協で使用する電力の 100%以上を再生可能エネルギーによる発電でまかなう状況を維持します。

（３）資源の節約とリサイクル活動を、組合員といっしょに、いっそう推進します。容器包装の使用量削減と 100%回収をめざし、年度の目標を設定して取り組みます。

（４）産直商品、アイコープ商品の利用普及、地産地消の活動を、いっそう推進します。このことで、輸送エネルギーの削減による CO_2 排出量の削減をすすめるとともに、県内農林漁業の復興・振興に寄与します。また、エシカル消費についても、組合員といっしょに、学習や普及をすすめます。

（５）食品ロス問題は、食品廃棄の削減、リサイクル率の向上の目標をかかげ、取り組みを進めます。「コープフードバンク」、「フードドライブ」を通じた社会貢献など、事業者としてより積極的な役割を果たします。

（６）環境保全活動に対応した商品のおすすめや学習会の開催、「コープの森」の取り組みなど、組合員ともに環境保全活動を推進し、自然共生社会の実現を目指します。

２．環境に関する法令を守り、事業によって環境を汚染しないよう、その予防に努めます。

３．上記の課題に、全常勤者が主体的に取り組めるように、環境教育を実施します。

４．この環境方針と環境活動の取り組みの結果を定期的に公表し、社会的責任を果たすとともに、環境問題について社会全体の取り組みがさらに進むことに寄与します。

制定日　2011 年 5 月 23 日
改定日　2025 年 3 月 21 日
いわて生活協同組合

理事長　　阿部　慎二